報道関係担当者 各位

豊島区 政策経営部 広報課
令和８年 11 月 25 日

『豊島区空き家利活用事業』地域貢献型採択事業
空き家を活用した「地域に開かれたアトリエ兼ギャラリー」をオープン！
～地域住民が気軽にアートに触れられる拠点を創出～



豊島区では、空き家利活用事業を活用して、TOMO ART WORK STUDIO が運営する地域に開かれたアトリエ「TAWS PROJECT SPACE」を、11 月 13 日（金）に区内でオープンしました。

本事業は、区が空き家所有者と空き家活用を希望する事業者をマッチングし、改修費の補助等を行うことで、空き家の利活用を促進する取り組みです。今回が 12 件目の事例で、アトリエとしての開設は初めてとなります。

本施設では、運営事業者がこれまで培ってきた美術制作活動や探究型学習の支援経験を生かし、美術の専門家だけでなく、地域住民も日常の中でアートに触れられ、自らの関心や表現を広げられる場を目指します。

今後は、現代美術作品の展示に加え、地域住民が参加できるワークショップや、親子でアートを楽しめる企画などを実施し、多世代の交流や地域コミュニティの活性化につなげていきます。

運営事業者は、「空き家利活用事業の下、物件オーナー様、不動産担当者様、豊島区の皆様の多大なご理解ご支援のおかげで、思い描いてたアトリエ兼ギャラリーを開設する事ができました。今後は、この場所で自身の制作活動を続けながら、展覧会やさまざまな催しを通じて地域の方々など多様な人々や表現が交わる場所へと育て、地域に新たな文化やつながりを生み出すきっかけとなれば幸いです」と話しています。

本区は、今後も空き家利活用事業を推進し、空き家の減少を図るとともに、地域交流や福祉の充実につながる空き家の有効活用に取り組んでいきます。



改修前



改修後

【問い合わせ先】住宅・マンション課 空き家対策グループ 電話：03-3981-2655

【「豊島区空き家利活用事業」概要】
　空き家を地域・コミュニティ施設に活用する「地域貢献型空き家利活用事業」と、住宅確保要配慮者向けの福祉的住居に活用する「共同居住型空き家利活用事業」の２つの事業があり、空き家オーナーと利活用事業者の登録とマッチング、改修費の補助（費用の 2/3）、両者の調整、運営・立上げ支援等を行っている。これまでトキワ荘マンガミュージアムと連携したブックカフェや、若年妊婦を支援する NPO 法人の活動拠点、ひとり親向けシェアハウスなどを開業。
●地域貢献型空き家利活用事業：https://www.city.toshima.lg.jp/508/2012241623.html
●共同居住型空き家利活用事業：https://www.city.toshima.lg.jp/508/1906271416.html

■「TAWS　PROJECT　SPACE」概要

住所：豊島区千早２丁目　/　最寄り駅：東京メトロ有楽町線・副都心線　千川駅

建物：木造３階建　事務所兼共同住宅建物の１階事務所部分（約 59 ㎡）　2003 年築

開業日：令和８年 11 月 13 日（金）

営業日：土日祭日を除く平日　※所在地、営業時間等は直接お問い合わせください

運営事業者：TOMO ART WORK STUDIO

【mail】info@sakuraitomo.site　【HP】https://www.sakuraitomo.site/

活動概要：

これまでの美術制作活動や探究型学習の支援経験を活かし、美術を専門とする人だけでなく、地域住民が日常の中でアートに触れ、自らの関心や表現を広げられる環境を創出することを目指す。

空き家を地域の文化的資源として再生し、多世代の交流や地域コミュニティの活性化につなげる開かれた文化芸術拠点として以下の事業を実施予定。

・現代美術作品の展示
・地域住民が参加できるワークショップ
・アーティストや参加者同士の交流機会提供
・子どもや親子がアートに触れられる企画等の実施





■空き家の概要と利活用に至る経緯

本物件は、元々新聞販売店の事務所兼作業所として使用していたもので、令和3年に廃業後、約5年間空き家となっていました。廃業時にキッチンやトイレ、扉や間仕切り、内装クロス等はすべて撤去され、建物の躯体のみの状態となっていたため、設備等の新設の必要があることも活用のハードルとなっていましたが、空き家利活用事業のマッチング制度と補助金を活用することにより、アトリエの開設に至りました。